

[003] 九州大学農学部農場年報 : 第3号

<https://doi.org/10.15017/13213>

出版情報 : 九州大学農学部農場年報. 3, 2002-03. 九州大学農学部附属農場
バージョン :
権利関係 :



1. 概要

1. 沿革および特色

当農場は農学部附属し、農学に関する教育と研究を行う施設として1921年4月、勅令120号により28ha余りを整備して設置された。1949年に約4haを農林省へ所管換えし、1965年に粕屋地方演習林（篠栗町津波黒）の一部に果樹園（5ha）と放牧場（14ha）を造成した。原町農場では、1966年に1,717m²の大型ハウスが完成し、1968年には耕地の基盤整備を実施した。1981年に大分県直入郡久住町に高原農業実験実習場の設置が認可され、約17haの用地を購入して動物生産部門を発足させた。さらに、1984年に原町農場に研究実習棟の落成をみた。主な出来事は年譜に示した通りである。

本場における農場実習は、学科毎にカリキュラムを組み、機能の異なる3農場で、教官、技官および事務官一体となって実施されている。研究は各部門において基礎から先端分野まで幅広く行われており、大学院生、外国人留学生も成果をあげている。また、イネ、マメ、果樹および花卉の遺伝資源収集、JICAやIPSAをはじめとする国際協力、地域農業への取り組み、農業者や市民を対象にした公開講座の開催等に力を注いでいる。

原町および篠栗農場年譜

- 1921. 4 勅令120号により農学部附属農場設置.
- 1921.12 農場本館および酪農舎完成.
- 1946. 6 農場運営規定制定.
- 1949.12 農場用地約4haを農林省へ所管換え.
- 1965. 3 篠栗果樹園および牧場の計画・造成開始.
- 1966. 3 大型ファイロンハウス（500坪）竣工.
- 1973. 2 馬術部の馬場造成.
- 1976. 4 酪農研究室と肉畜研究室を廃止し、畜産研究室に統合.
- 1979. 6 作物、園芸、畜産の3部門制へ移行.
- 1984. 7 研究実習棟落成.
- 1994. 4 機械警備導入により本館の宿日直廃止.ダイヤルイン導入.
- 1996.10 農場創設75周年記念式典.

高原農業実験実習場年譜

- 1979. 用地16.8haの購入と関連施設の建設許可.
- 1983. 3 本館・牛舎新築落成.
- 1983. 8 作業収納舎、飼料調製室および堆肥舎新築.
- 11 スチールサイロ建設.
- 1986. 3 育成牛の放牧開始.
- 1990. 1 分娩牛舎監視カメラ、牛保定枠およびパドック新設.
- 1991. 3 気象記録装置設置.
- 1992. 9 国土地理院地籍実測調査.
- 1994.12 分娩牛舎監視カメラシステム完成.

2. 所在地

原町農場

811-2307 福岡県粕屋郡粕屋町大字原町 111

電話代表 092-612-2862

Fax 092-612-2872

ダイヤルイン 092-612- 内線番号

篠栗農場

811-2415 福岡県粕屋郡篠栗町大字津波黒 348

電話 092-947-0182

高原農業実験実習場

878-0201 大分県直入郡久住町大字久住字鶴ヶ笹 4045-4

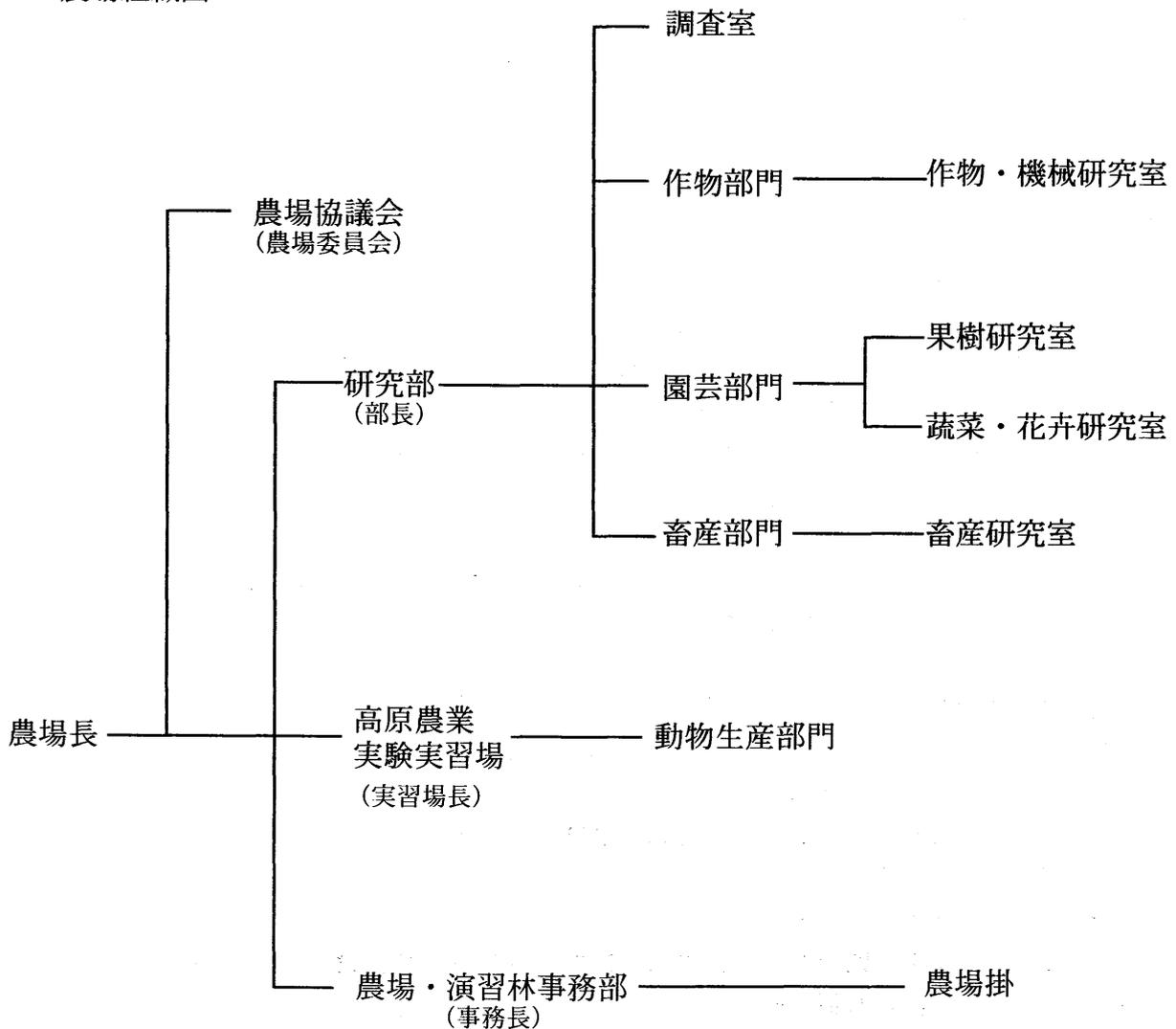
電話代表 0974-76-1377

Fax 0974-76-1218

3. 組織

機構

農場組織図



職員配置、数

区分	教授	助教授	助手	事務官	技官	非常勤
農場長	(1)*					
高原農業実験実習場長	(1)*					
研究部長	1					
調査室						1
作物部門		1	1		4	1
園芸部門		1	1		4	2
畜産部門		1	1		4	
動物生産部門（高原）		1	1		1	1
事務部（専門員及び農場掛）				3		2
計	2(2)	4	4	6	14	9

*：括弧内は併任..

委員会

農場協議会

構成：1)農場長

2)研究部長、高原農業実験実習場長、部門主任、研究室長および事務長。

3)大学院農学研究院の生物資源開発管理学部門、植物資源科学部門、動物資源科学部門、農業資源経済学部門及び生産環境科学部門の教授並びに助教授のうちから選ばれた者、各部門それぞれ1名。

高原農業実験実習場運営委員会

構成：高原農業実験実習場長、農場長、農学部委員

農場委員会 毎月

構成：農場長、農場教官、事務長。

班長会 毎月

構成：研究部長、各研究室班長。

美化委員会 毎月

構成：各研究室より1名。

職員名簿（2002年3月現在）

農場長（併）	教授	福山 正隆
高原農業実験実習場長（併）	教授	増田 泰久
（研究部）		
研究部長（兼）	教授	名田 陽一
調査室	非常勤	堀 恵子
作物部門主任	助教授	中司 敬
作物・機械研究室長	助手	望月 俊宏
” 技術専門官・第一技術班長	技官	中川 幸夫
” 技術専門職員	”	鳥飼 芳秀

” 技術員	”	泉 清隆
” 技術員	”	梶原さゆり
園芸部門主任	非常勤	篠崎久美香
果樹研究室長（併）	助教授	若菜 章
” 技術専門職員	”	”
” 技術員	”	福留 巧
	”	安河内幸一
蔬菜・花卉研究室長	非常勤	城戸ハツ子
” 技術専門職員・第二技術班長	助 手	尾崎 行生
蔬菜・花卉技術専門職員	技 官	竹下 繁
	技 官	久保 廣安
	非常勤	伴 千代子
畜産部門主任	助教授	岡野 香
畜産研究室長	助 手	中野 豊
” 技術専門職員・班長	技 官	古澤 弘敏
” 技術員専門職員	”	梶原 良徳
” 技術員	”	松石 貴裕
” 技術員	”	道端奈穂子
動物生産部門主任	助教授	後藤 貴文
”	助 手	西村 光博
” 技術専門職員	技 官	衛籐 哲次
” 技能補佐員	非常勤	渡辺 潤
（事務部）		
事務長	事務官	木村 恒雄
専門員	”	酒井 剛志
農場掛長	”	岩隈 輝勝
農場掛主任	”	黒瀬 正秋
事務補佐員	非常勤	松尾 理華
	非常勤	中澤滋賀子

4. 土地および建物

原町農場は総面積2,346a、篠栗農場1,932aおよび高原農業実験実習場1,684aで、下記のように利用されている。

区分	面積(a)		
	原町	篠栗	高原
耕地・水田	584		
耕地・畑	751		
果樹園	30	834	
桑園	134		
牧場・採草地		500	1,270
建物敷地	328		280
その他	519	598	134
計	2,346	1,932	1,684

建物および施設約30棟を有している。

	建物名称	構造	延面積(m ²)	竣工年
原町農場	研究実習棟	R	1,465	1984
	大学院研究棟	S	301	2000
	作業室	B	557	1968
	収納舎	W	466	1921
	乳牛舎	W	314	1923
	畜産加工室	W	147	1932
	温室(4棟)	S	462	—
	プラスチックハウス	S	1,717	1966
	機械格納庫	S	200	1971
篠栗農場	果樹集荷選果場	S	510	1972
	温室	S	100	1979
高原実習場	本館	R	900	1983
	牛舎	S	426	1983

注) W: 木造、S: 鉄骨、R: 鉄筋、B: ブロック。